
正夢よりもいいモノを～沖/神～

璃子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

正夢よりもいいモノをく沖／神く

【Nコード】

N4753F

【作者名】

璃子

【あらすじ】

新選組創立記念日の日沖田総悟は遊び相手（イジめる対象）がいなく、暇であった…。そんな中、見た夢とは？…沖神の物語です。

(前書き)

初めての投稿です。
読みにくい文章もあり、無理矢理な所ありますが読んでくれたら
有り難いです。

「暇でい」

俺は公園にいる。

久々の休み。

新選組の創立記念日らしい。

山崎はサークル仲間とミントンを、土方さんは健康ランドに。
近藤さんはいつもの如く：ストーカーをしている。

チャイナの所に行ったのに、どこかに出かけたらしきいなかった。

俺は今とても暇を持て余している。

「寝るか…」

寝ようとするものの、眠れない。

いつも、寝れるのに。なんでだ？

目をつぶるとチャイナを思い出す。

俺には見せない笑顔を。旦那や眼鏡という時の笑顔を。

「情けねえ」

「神楽…」

「夢…」

俺は、夢を見た。
最高の夢。

俺だけに向けた、笑顔のあいつ。
その後キスをした…。

「ハッ 笑えるぜい…」

「何が笑えるアルか？」

「！な何アルか？」

びっくりした：

なんでいるんだ？

いつからいたんだ？

「いつから居たんですかい？」

「サドが起きた時からアルヨ？何でそんな事聞くネ。

はっ！まさかこの子はこんな昼間から妄想に励んでいたアルか！

悲しいネ。そんな子に育てた覚えはないネ！」

育てられた事もないが

「何処でそういう言葉を覚えてきたんですかい？」

「“うふんっ○曜はダメよ”アル」

「取りあえずその番組見るのやめるでい」

「オマエに指図される覚えはないネ！

そんなこといって妄想に励んでいた事をなかったことにしようとしたって無駄ネ！

何妄想してたアル！」

ニヤリ

「言ってもいいんですかい？（笑）」

「おっ おう…」

「神楽とキスする妄想」

これでもかと言うぐらい真っ赤になった神楽

「なっ／＼／何言ってるアルか！何でそんなこと恥ずかしげもなく！」

「アンタに言われたくないでい」

「妄想で終わらせるのは勿体ないのでい」

「え？」

俺はチャイナの腕を掴み引寄せろ。

なんて細い腕なんだと思いつながら、こんなにも小さいんだと思いつながら、なんでこんなにも愛しいんだと思いつながら。

「! ん ん っ … う …」

俺は小さく赤い唇に触れる。

「… ふ い … ん」

甘い声出すなよ。

襲いたくなるから。

俺はこれ以上したらヤバいと思い、キスをやめた。

「いきなり何するネ! / / していいとか言っていないアル!
ワタシに謝るヨロシ! でないと口効かないアル」

それは、嫌だ。

「どうしたら許してくれますかい?」

「酔昆布一年分よこすヨロシ!」

「生憎持つて無いでい」

「なら…」

チュ

頬に柔らかいモノが。

「今日の所はこれで勘弁してやる／＼／
じゃあな！…総悟」

俺は、影が小さくなるまで見送った。

「暇もいいもんでい」

あの小さい猛獣には勝てそうにもないなど、俺は確信した。

(後書き)

続き

「青春だねえー(笑)

オレらの事すっかり忘れちゃってるよ 神楽ちゃんはおじさん 困っちゃうじゃあん(笑)」

「…」

「どうしたのゝ新八」

「僕は許しませんよ！神楽ちゃんはまだ子供ですよ？！まだそんな…はやりすぎます！！」

「はゝん(笑)

さてはお前、神楽に先越されて悔しいんだろ？お前は一生無理っばいもんねえ…」

「…銀さんも神楽ちゃんも嫌いだあー！！
だあー！だあー！(エコー)」

「どうしたアルか？ダメガネは？」

《作者》いつの間に…（汗）

「んー 大人の事情お？」

と、言う話を付けようと思ったのですが、グタグタになってしまうので切りました。

見たくない人は見えないようにしました。

見てくれた人！

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4753f/>

正夢よりもいいモノを～沖/神～

2010年10月10日00時16分発行